

I 部 講演者紹介



新田國夫先生（一般社団法人日本在宅ケアアライアンス 理事長）

- 1967 早稲田大学第一商学部卒業
- 1979 帝京大学医学部卒業
帝京大学病院第一外科・救急救命センターなどを経て
- 1990 東京都国立市に新田クリニック開設 在宅医療を開始
- 1992 医療法人社団つくし会設立 理事長に就任し現在に至る。



河野順氏（NPO法人くみサポ 理事）

2016年、精巣腫瘍告知。摘除手術受けるも2018年、リンパ節に再発。抗がん剤治療により寛解。製薬会社勤務。20年間、抗がん剤などの新薬開発の基礎研究に従事。その後、自身の病気の経験も活かし、人事部門にて従業員の健康管理、健康リテラシー向上、治療と仕事の両立支援等の施策立案・推進に全力を傾ける。『看取り』を自分事としてとらえ、私たちにできることを医療介護専門職と一般市民が一緒に考え、最期まで安心して暮らすことができる地域、それを支える社会の実現を目指す。

II 部 シンポジスト紹介



ファシリテーター：大橋晃太 先生

（トータス往診クリニック院長 NPO血液在宅ねっと 理事長）

NPO血液患者コミュニティももの木理事長、日本血液学会 血液疾患の地域医療/在宅医療連携に関するワーキンググループ。
東京大学工学部博士号取得、東京医科歯科大学医学部医学科へ学士編入学、2008年卒業。
東京医療センター血液内科/緩和ケア科、国立がん研究センター東病院、血液腫瘍科勤務、2016年よりトータス往診クリニックを開業、現在に至る。
専門医など：日本血液学会血液専門医、日本緩和医療学会緩和医療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医



白石恵子 氏

（公益社団法人埼玉県看護協会
鳩ヶ谷訪問看護ステーション所長）

看護専門学校卒業後、市立病院にて約8年間の臨床経験。
1994年6月から訪問看護ステーション訪問看護師として勤務。
2000年1月より現勤務先の所長就任し現在に至る。



宮田優子 氏（がん看護専門看護師）

2013年がん看護専門看護師資格取得。大阪国際がんセンターなどを経て、現在は東京医科歯科大学病院に勤務。院内にがん看護外来を開設し、がん患者さんやご家族の悩みに寄り添い、その人らしい療養生活を送ることができるようサポートしている。がん相談支援センターの相談員も兼任している。



司会者：福智木蘭 さん

（NPO法人がん患者団体支援機構 副理事長）

25年前「鼻中隔がん」で大手術。顔の真中はスッポリ空洞、嗅覚無し。
Net-TV「Canps Station」「ムータカCh・Smile Time」パーソナリティー、歌手、司会、シンガーソングライター。
「頭頸部がん患者と家族の会Nicotto(ニコット)」会長

アピール文発表

アピール文を作成し
厚生労働省 日本医師会
患者家族へ提出